

令和元年度

山梨県後期高齢者医療広域連合  
歳入歳出決算審査意見書

山梨県後期高齢者医療広域連合監査委員

## 目 次

第1	審査の対象	P 1
第2	審査の期日	P 1
第3	審査の方法	P 1
第4	審査の結果	P 1
第5	審査の概要	P 2
	(1) 歳入歳出決算書及び歳入歳出決算事項別明細書	P 2
	(2) 実質収支に関する調書	P 6
	(3) 財産に関する調書	P 7
第6	意見	P 8

## 第1 審査の対象

令和元年度山梨県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算書等

- ・一般会計歳入歳出決算書
- ・一般会計歳入歳出決算事項別明細書
- ・実質収支に関する調書（一般会計）
- ・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算書
- ・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算事項別明細書
- ・実質収支に関する調書（後期高齢者医療特別会計）
- ・財産に関する調書

## 第2 審査の期日

令和2年8月20日

## 第3 審査の方法

審査にあたっては、歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書が、それぞれ関係法令に準拠して作成されているか、決算の計数に誤りはないか、予算は適正かつ効率的に執行されているかなどに主眼をおき、関係諸帳簿及び証書類と照合しながら実施した。

## 第4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿及び証書類と照合した結果、正確であると認められた。

また、予算は適切かつ効率的に執行されているものと認められた。

## 第5 審査の概要

### (1) 歳入歳出決算書及び歳入歳出決算事項別明細書

#### ① 一般会計

##### 1. 決算の収支状況

(単位：千円)

		令和元年度①	平成30年度②	①－②
予 算 現 額	A	558,132	534,031	24,101
歳 入 総 額	B	558,140	534,026	24,114
歳 出 総 額	C	539,742	512,723	27,019
歳入歳出差引額(B-C)	D	18,398	21,303	△ 2,905
予 算 執 行 率	歳 入 B/A	100.0%	100.0%	-
	歳 出 C/A	96.7%	96.0%	-

平成30年度と比較すると歳入は、2,411万4千円の増となっている。これは、市町村負担金が増となったためである。

歳出は、2,701万9千円の増である。これは、特別会計への繰出金、基金への積立が増となったためである。

##### 2. 歳入予算の執行状況

(単位：円)

区分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	収入率 C/A
分担金及び負担金	503,361,000	503,373,248	303,373,248	0	0	60.3%
財産収入	8,000	7,100	7,100	0	0	88.8%
繰入金	33,434,000	33,434,000	33,434,000	0	0	100.0%
繰越金	21,303,000	21,303,315	21,303,315	0	0	100.0%
諸収入	26,000	22,551	22,551	0	0	86.7%
計	558,132,000	558,140,214	358,140,214	0	0	64.2%

予算現額5億5,813万2千円(当初予算5億3,683万円、補正予算2,130万2千円)に対し、調定額、収入済額ともに5億5,814万214円である。

### 3. 歳出予算の執行状況

(単位：円)

区分	予算現額 A	支出済額 B	翌年度繰越額 C	不用額 A-(B+C)	執行率 B/A	構成比
議会費	1,254,000	1,171,755	0	82,245	93.4%	0.2%
総務費	171,928,000	169,064,738	0	2,863,262	98.3%	31.3%
民生費	367,188,000	352,745,665	0	14,442,335	96.1%	65.4%
諸支出金	16,762,000	16,760,100	0	1,900	100.0%	3.1%
予備費	1,000,000	0	0	1,000,000	0.0%	0.0%
計	558,132,000	539,742,258	0	18,389,742	96.7%	100.0%

予算現額 5 億 5,813 万 2 千円（当初予算 5 億 3,683 万円、補正予算 2,130 万 2 千円）に対し、支出済額 5 億 3,974 万 2,258 円を差し引いた予算不用額は、1,838 万 9,742 円である。

#### ② 後期高齢者医療特別会計

##### 1. 決算の収支状況

(単位：千円)

		令和元年度①	平成30年度②	①-②
予 算 現 額	A	106,860,226	103,108,573	3,751,653
歳 入 総 額	B	105,566,613	103,030,508	2,536,105
歳 出 総 額	C	104,755,523	101,145,023	3,610,500
歳入歳出差引額(B-C)	D	811,090	1,885,485	△ 1,074,395
予 算 執 行 率	歳 入 B/A	98.8%	99.9%	-
	歳 出 C/A	98.0%	98.1%	-

平成 30 年度と比較すると、歳入は、25 億 3,610 万 5 千円の増である。これは、市町村負担金、国庫負担金、県負担金、支払基金交付金、が増となったためである。

歳出は、36 億 1,050 万円の増である。これは、総務費、保険給付費、保健事業費、国・県への返還金が増となったためである。

## 2. 歳入予算の執行状況

(単位：円)

区分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	収入率 C/A
市町村支出金	17,782,697,000	17,544,624,503	17,544,624,503	0	0	98.7%
国庫支出金	34,787,067,000	35,276,624,840	35,276,624,840	0	0	101.4%
県支出金	8,705,631,000	8,565,826,639	8,565,826,639	0	0	98.4%
支払基金交付金	42,061,758,000	41,686,403,303	41,686,403,303	0	0	99.1%
特別高額医療費 共同事業交付金	19,000,000	26,714,152	26,714,152	0	0	140.6%
財産収入	183,000	146,867	146,867	0	0	80.3%
繰入金	1,420,676,000	352,745,665	352,745,665	0	0	24.8%
繰越金	1,885,484,000	1,885,484,914	1,885,484,914	0	0	100.0%
県財政安定化 基金借入金	1,000	0	0	0	0	0.0%
諸収入	197,729,000	240,297,732	228,042,995	728,491	11,526,246	115.3%
計	106,860,226,000	105,578,868,615	105,566,613,878	728,491	11,526,246	98.8%

予算現額 1,068 億 6,022 万 6 千円（当初予算 1,039 億 8,198 万 2 千円、補正予算 28 億 7,824 万 4 千円）に対し、調定額 1,055 億 7,886 万 8,615 円、収入済額 1,055 億 6,661 万 3,878 円である。不納欠損額 72 万 8,491 円は医療費返納金のうち、高齢で財力が乏しく財産も無く、5 年の債権の時効を迎えたものであり、未収金 1,152 万 6,246 円は、第三者納付金と医療費返納金の未納分である。

### 3. 歳出予算の執行状況

(単位：円)

区分	予算現額 A	支出済額 B	翌年度繰越額 C	不用額 A-(B+C)	執行率 B/A	構成比
総務費	395,822,000	379,203,665	0	16,618,335	95.8%	0.4%
保険給付費	104,404,600,000	102,338,494,314	0	2,066,105,686	98.0%	97.7%
特別高額医療費 共同事業拠出金	22,480,000	22,297,611	0	182,389	99.2%	0.0%
保健事業費	134,956,000	119,701,000	0	15,255,000	88.7%	0.1%
基金積立金	183,000	146,867	0	36,133	80.3%	0.0%
公債費	1,000,000	0	0	1,000,000	0.0%	0.0%
諸支出金	1,899,185,000	1,895,680,185	0	3,504,815	99.8%	1.8%
予備費	2,000,000	0	0	2,000,000	0.0%	0.0%
計	106,860,226,000	104,755,523,642	0	2,104,702,358	98.0%	100.0%

予算現額 1,068 億 6,022 万 6 千円（当初予算 1,039 億 8,198 万 2 千円、補正予算 28 億 7,824 万 4 千円）に対し、支出済額 1,047 億 5,552 万 3,642 円を差し引いた予算不用額は、21 億 470 万 2,358 円である。

## (2) 実質収支に関する調書

### ① 一般会計

(単位：円)

		令和元年度	平成30年度
歳入総額	A	558,140,214	534,026,874
歳出総額	B	539,742,258	512,723,559
歳入歳出差引額(A-B)	C	18,397,956	21,303,315
翌年度に繰り越すべき財源	D	0	0
実質収支額(C-D)	E	18,397,956	21,303,315
前年度実質収支額	F	21,303,315	21,104,957
単年度収支額(E-F)	G	△ 2,905,359	198,358

令和元年度の財政収支についてみると、歳入歳出差引額は1,839万8千円であり、実質収支額は、翌年度に繰り越すべきものがないため同額となっている。

### ② 後期高齢者医療特別会計

(単位：千円)

		令和元年度	平成30年度
歳入総額	A	105,566,613,878	103,030,508,890
歳出総額	B	104,755,523,642	101,145,023,976
歳入歳出差引額(A-B)	C	811,090,236	1,885,484,914
翌年度に繰り越すべき財源	D	0	0
実質収支額(C-D)	E	811,090,236	1,885,484,914
前年度実質収支額	F	1,885,424,914	1,019,223,091
単年度収支額(E-F)	G	△ 1,074,334,678	866,261,823

令和元年度の財政収支について、歳入歳出差引額は8億1,109万円であり、実質収支額は、翌年度に繰り越すべきものがないため、同額となっている。

### (3) 財産に関する調書

#### ① 物 品

(取得金額：50万円以上)

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
レセプト保管用平行移動書庫一式	1		1
公会計システム (PPPver.5フルバック版)	1		1

#### ② 基 金

##### 1. 山梨県後期高齢者医療広域連合財政調整基金

(単位：千円)

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
現 金	87,367	△ 16,674	70,693

##### 2. 山梨県後期高齢者医療給付基金

(単位：千円)

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
現 金	1,809,502	144	1,809,646

##### 3. 山梨県後期高齢者医療広域連合保健事業等支援基金

(単位：千円)

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
現 金	32,243	3	32,246

## 第6 意見

一般会計及び後期高齢者医療特別会計の事務費の財源については、その多くが市町村からの負担金によるものであるため、市町村の負担軽減を図る意味でも、引き続き経常経費の節減に取り組んでいただきたい。

一方で、毎年増加の一途をたどっている高齢者の医療費については、高齢化、医療の高度化が進み、被保険者数の増加により、令和元年度の一人当たり医療費は0.7%の増となっている。

令和2年7月発表の厚生労働省の調剤医療費の動向における都道府県別後発医薬品割合によると、山梨県は令和元年度2月（R2.2）時点で78.6%の全国37位となっており、後発薬の使用が進んでいない。前年同月と比較すると5.0ポイント伸びており、伸び幅では全国1位となっているが、国は令和2年9月までに使用割合80%を目標としており、更なる使用促進策を検討するとともに、医療費の適正化や健康増進事業等を市町村と連携しながら継続していくことにより、医療費の抑制に努めていただきたい。

また、負担区分の変更等で生じた医療費の返納については、公平・公正を保つ意味でも更なる強化を図ってほしい。

世界的に流行している新型コロナウイルス感染症により、「新たな日常」に向けた社会保障の構築についての取組、日々の健康管理の重要性を踏まえ、予防・健康づくり、重症化予防の取組を推進する必要があることから、国や県、市町村との連携を深め、社会情勢や医療費の動向を注視する中で後期高齢者に対する適切な医療給付を行っていただきたい。

経費削減については非常に努力されており、予算を無駄なく効率的に執行しているため、今後も引き続き努力していただきたい。